



山添分校 同窓会の皆様へ

令和3年8月1日

山辺高等学校山添分校同窓会
山添村・山添村教育委員会



学校新聞も同封しましたのでご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見通せない状況ではありますが、同窓会の皆様方はいかがお過ごしでしょうか。「当たり前のこと、何気ない日常」が如何にかけがえのないものであるかを実感している今日この頃です。創立以来70有余年、山添分校は地域に根ざした学校としての歩みを進めてきました。教育目標や本年度重点としている内容は次のとおりです。また、先日、生徒・保護者に配布しました

【教育目標】

農業科、家政科の特性を生かし、チャレンジ精神に満ち、どんな困難にもくじけず、正々堂々と生きる人間を「ゆっくりに、じっくり、たっぷり」育てる学校づくりを目指す。

本年度の重点目標(抜粋)

- (1) 社会で自立して生きていく力キャリア教育の充実
- (2) 人間として持つべき規範意識を身につけ、主体的に判断して行動できる力の育成
- (3) ルール・マナーの習得、自主性の育成
- (4) リーダーシップの育成、達成感による自己実現や自尊感情の醸成

さて昨年3月発刊の同窓会報にて令和4年4月に山添分校が村立の昼間定時制高校としてスタート予定と報じられ、村立化に向けたスケジュールも掲載されました。しかし、その後の動きに変更があり、現在は次のような状況であることをお伝えします。



心身ともに健やかで生きる力を備えた"山添の子ども"の育成は保育園、小学校・中学校と続く本村の特色と魅力ある教育の推進にかかっています。

中長期的な視点に立てば、まずは保育園の統合を端緒とし、続いて小・中学校の児童生徒に対する充実した教育施策を進めなければなりません。山添分校の今後の在り方を考え、その方向性をどう具現化していくかはこれら家庭教育や就学前教育、義務教育という子どもの成長に応じた”教育ビジョン”を確立しその延長として再度検討していくこととしました。

会員の皆様方にはご迷惑をおかけすることとなりましたが、子どもたちの成長段階に応じた継続的な教育という大きな枠組みの中で、今後の村立高校の在り方を検討して参りますのでご理解をお願いいたします。[山添村教育委員会]



平素は山添分校の充実発展にご支援とご協力を賜り深謝申し上げます。

村立高校の立上げに向けて関係各方面にご尽力を頂いておるところですが、これからの時代を生き抜く山添の子どもたちのための一貫した園・教育方針を策定しなければなりません。その中で分校の本校化をどう位置付けていくのか時間をかけて研究することになりました。会員の皆様方にはご迷惑をおかけすることとなりましたがご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。
(同窓会長 川畑和之)



皆様方には普段から山添分校に心を寄せていただき感謝申し上げます。魅力あふれる「いい村づくり」を目指し『やまぞえ未来創生計画』がスタートしています。その中で「生きる力」を備えた子どもの育成が求められ、このことは山添分校のみならず村内すべての園・学校に係る課題でもあります。分校の村立移管への取組を進めて参りましたが、子どもたちの育成・教育環境を中長期的に考え、その中で分校の在り方を考えていくこととなりました。何卒、ご理解ご協力いただきますようお願いいたします。
(後援会長 永谷義博)